

# 28階建てタワーマンション

## 外観「織物」デザイン

### 高崎駅東口 東京建物が分譲



プリリアタワー高崎のイメージ

JR高崎駅周辺の再開発事業が進む中、東京建物(東京都中央区)などが駅東口で手掛ける地上28階建てのタワーマンション(高崎市東町)の分譲が始まった。外観の一部は織り機やシルクの織物をイメージし、本県ならではのデザインを採用。高さ約100mの建物はランドマークとしての役割も担う。周辺ではマンション建設の動きが盛んで、さらなる人口増が期待される。

建設中のタワーマン糸をモチーフにした装飾の6250万円。シヨンは「プリリア」飾ガラスを使うという。23日後2時まで登録を受け付け、抽選する。計222戸のうち、県庁、高崎市役所に次いで高い建物となり、2020年の完成を目指している。期2次販売の登録は5月に行き、販売するのは5月22階の計36戸で、価格は1LDK(21)から3LDK(9)まで。2660万円(3LDK)で間い合わせにエンタランスにも、絹K(16階、90・35平方)も対応する。

## 輝く 現場の女性たち

プリント基板のほんを集め、勅使河原社長にだけから組み立て、検査までを手掛ける会社の核を担う製造部のトップを製造の進み具合の動きや製造員員合など全体を見渡し、効率的な作業工程を指示。勅使河原社長は右腕として社内外の業務に当たる。

## 内職から製造部トップ



社員の声に耳を傾ける小金沢さん

小金沢さんは、女性社員の目標。温かく頼りがいがある。愛情を注いで育てた娘は間もなく結婚式を迎える。

「地域と連携」 JR高崎支社長 木村氏来社 JR東日本高崎支社長 木村氏はDCの本拠地に向けて意気込みを語った。

パといった商業施設にもつながる。駅周辺では、商業施設の開業や公共施設の整備が相次ぐ。市は中心市街地でのマンション建設を促すため、駅周辺の商業地域約200haで規制を緩和し、購入者への助成制度も創設する。人口増を軸にしたまちづくりが進んでいる。



DCへの意気込みを語る木村支社長

「興味ある話題探して」 上毛新聞社のしらのめ信金で講座。新聞の活用法について学ぶ新入職員。



冷蔵保存技術を見学する越川副理事長(右)ら JICA関係者

海外展開で意見交換。JICA副理事長高崎2社訪問。国際協力機構(JICA)の越川副理事長が来県し、高崎市内の2社を訪れ、活動の進捗について意見交換した。

「興味ある話題探して」 上毛新聞社のしらのめ信金で講座。新聞の活用法について学ぶ新入職員。上毛新聞社は、出前講座を希望する企業・団体を受け付けています。

Table with stock market data including SANKYO, SANKYO HD, and other companies.

Nett Toyota High崎 advertisement for the Aqua car. Features 'More Cool Design' and 'Spring Wakuwaku Fair 4.11~15'. Includes a large image of the Aqua car and detailed specifications.